



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより  
10月号  
令和4年9月30日(金)

一人一人が かがやく

校長 倉本 恵

昨年度の今は、分散登校期間中。全校児童の登校が再開した10月4日から、実質10日間の準備や練習期間を経て運動会に代わる行事として「丸リンピック2021」を開催しました。今年度は感染症関連で、登校ができないお子さんが0人になる日はない状況が続いていますが、5、6年生実行委員の活動は夏休み明けから始まり、代表委員会を経て、スローガンは「協力して 一人一人がかがやく 丸リンピックに しよう」と決定しました。

コロナ禍をきっかけに、得点や勝ち負けだけではなく、その当日までの経過により目を向けて、子どもたちの「自分づくりに関する力」を伸ばしていく行事にしていくことを職員と話し合いました。

今年度は、昨年度より感染症の状況も少し好転してきたので、選手によるリレー種目を復活させましたが、一人一人の走力確認と選手選考のための児童全員の短距離走のタイム計測には、今までにはなく日数がかかりました。コロナ禍ならではの新たな苦労もありますが、その都度、みんなで案を出し合いながら準備を進めています。

5、6年生は、実行委員に加え、丸リンピックの運営を支える係（放送・用具・低学年サポート・丸山台体操・応援団）での活動も始まっています。

また、昨年度徒競走に代わって取り入れた「8秒間走」に向けた練習も、各学年で始まりました。練習する中で、自分の力を発揮するのに適したスタート位置を自分で選択したり、自分の立てた目標に向かって走る技能や知識を獲得したりすることは、「主体的に学習に取り組む態度」の育成にしっかりつながります。慣れ親しんだ徒競走の形式の方が、見ていると落ち着くという思いも分かるのですが、誰が1位でゴールに入るかではなく、自分が決めた距離を8秒でどう走り切るか、という姿を見ていただきたいです。

話は変わりますが、慣れ親しんだ形の方が落ち着くと、同じことが言えると感じるのは、「宿題」です。毎日、家庭での学習に取り組む習慣を身に付けることは必要ですが、与えられたことに取り組むだけではなく、自分で学びたいことや学ぶ必要のあることを見つけて取り組もうとする力をつけることも、本校の子どもたちには必要だと感じています。

昨年度の2年生が取り組んでいた「ひとり学び（自由ノート）」の取組を参考に、後期から「宿題」の内容を一部見直していこうと考えています。

粘り強く取り組みながら、自分の学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整する「主体的に学習に取り組む態度」の育成に向けた見直しです。

具体的な内容については、丸リンピック終了後に改めてお知らせいたしますので、ご理解ご協力をお願いします。

10月15日(土)の「丸リンピック」には、各ご家庭のご家族2名までご参観いただけます。ぜひ当日までの経過をご家庭の中で話題にして、当日の輝く子どもたちの姿を見にいらしてください。お待ちしております。

## おねがい

丸リンピックの応援に「うちわ」を使いたいと計画しています。ご家庭にあるうちわをお子さんに持たせてください。また、参観いただくことのできない地域の方々には厚かましいお願いですが、ご不要のうちわがあれば、近所の本校児童に渡していただいたり、本校ポストに入れていただいたりなどご協力いただけると幸いです。ご協力よろしくお願いたします。